

がん緩和ケアに関する

国際会議

完全同時通訳

シンポジウム 7.11 fri 08:35-12:00

がん疼痛管理、最近の進歩

座長: **Russell Portenoy** (Beth Israel Medical Center, USA)

オピオイド受容体の多様性:オピオイド受容体の薬物選択、オピオイド・ローテーション、オピオイド・コンビネーション療法への影響
Gavril Pasternak (Memorial Sloan-Kettering Cancer Center, USA)

ヨーロッパ緩和ケア協会のガイドライン:がん性疼痛の進歩と最新治療戦略
Augusto Caraceni (National Cancer Institute, Italy)

がん関連内臓痛症候群のメカニズムとマネジメント
Mellar Davis (Cleveland Clinic, USA)

がん関連神経障害性疼痛のメカニズムとマネジメント
Russell Portenoy (Beth Israel Medical Center, USA)

[Additional comment]
外部神経皮膚刺激の一つであるスクランブラ治療を用いた疼痛緩和治療の可能性
Thomas J. Smith (Johns Hopkins Medical Institutions, USA)

プレナリーセッション

7.11 fri 13:00-17:00 エビデンスに基づいた呼吸困難のマネジメント
David Currow (Flinders University, Australia) / 座長:佐々木治一郎 (北里大学)

がん悪液質
Stein Kaasa (Norwegian University of Science and Technology, Norway) / 座長:佐藤温 (弘前大学)

精神社会的緩和ケアのゴールとしての死の受容
William Breitbart (Memorial Sloan-Kettering Cancer Center, USA) / 座長:内富庸介 (岡山大学)

緩和ケアにおけるコミュニケーションとその技術
Friedrich Stiefel (University Hospital Lausanne, Switzerland) / 座長:岡村仁 (広島大学)

7.12 sat 08:30-12:00 緩和的鎮静と安楽死
Luc Deliens (Vrije Universiteit Brussel, Belgium) / 座長:下山直人 (東京慈恵会医科大学)

[Additional comment] 緩和的鎮静とケアの質
小池和彦 (東札幌病院)

がん治療におけるスピリチュアリティ
Christina Puchalski (George Washington Institute, USA) / 座長:濱口恵子 (がん研有明病院)

小児の緩和ケア—家族を中心とした関わりと倫理的問題
Joann N. Bodurtha (McKusick-Nathans Institute of Genetic Medicine, USA) / 座長:中川俊一 (コロンビア大学)

エンド・オブ・ライフにおける認知療法
Dean Schuyler (Ralph H. Johnson VA Medical Center, USA) / 座長:平山泰生 (東札幌病院)

7.12 sat 13:00-17:00 アドバンス・ケア・プランニング:アドバンス・ディレクティブを越えて
R. Sean Morrison (Mount Sinai School of Medicine, USA) / 座長:木澤義之 (神戸大学)

日本における緩和ケア普及のための社会的研究
森田達也 (聖隷三方原病院) / 座長:斎藤洋司 (島根大学)
[Additional comment] 緩和ケアにおける東札幌病院の果たしてきた役割
照井健 (東札幌病院)

緩和ケアの有効性と費用対効果
Thomas Smith (Johns Hopkins Medical Institutions, USA) / 座長:東口高志 (藤田保健衛生大学)

臨床腫瘍学における緩和ケアの確立と統合
Stein Kaasa (Norwegian University of Science and Technology, Norway) / 座長:白井敬祐 (サウスカロライナ医科大学)

ランチセミナー

7.11 fri 12:00-13:00 がん疼痛マネジメントにおける新規薬剤の開発について
Hans G. Kress (Medical University/AKH Vienna, Austria) / 座長:細川豊史 (京都府立医科大学)
(共催:ヤンセンファーマ株式会社)

7.12 sat 12:00-13:00 乳がんの分子標的治療がもたらす症状緩和と臨床的有用性
Adam Matthew Brufsky (University of Pittsburgh School of Medicine, USA) / 座長:田村和夫 (福岡大学)
(共催:中外製薬株式会社)

ワークショップ 7.12 sat 09:00-12:00 / 13:00-17:00

Meaning Centered Psychotherapy in Cancer ~いわゆる実存的療法~
座長:**William Breitbart** (Memorial Sloan-Kettering Cancer Center, USA)
モデレーター:大西秀樹 (埼玉医科大学)

2014
7.11 fri - 12 sat

会場

札幌パークホテル

札幌市中央区南10条西3丁目

参加費

10,000円

定員

600名(ワークショップは60名)

※定員になり次第、登録受付を終了させていただきます。

参加登録は、ホームページで受け付けています。
電話、ファックス、E-mailでの登録も可能です。
詳しくは、ホームページをご覧ください。

<http://www.sapporoconference.com/>

主催/医療法人 東札幌病院

〒003-8585 北海道札幌市白石区東札幌3条3丁目7番35号

電話 011-812-2311(代表) FAX 011-823-9552

E-mail: sc2014@sapporoconference.com